

2020年10月7日

各 位

生物科学研究所にて太陽光発電システム稼働

日産化学株式会社（本社：東京都中央区、社長：木下小次郎）は、埼玉県地球温暖化対策推進条例※への対応として、生物科学研究所（埼玉県白岡市）にて自家消費型太陽光発電システムの稼働を開始いたしましたのでお知らせします。太陽光発電システム導入により、生物科学研究所において年間約70t-CO₂の温室効果ガス（GHG）排出量削減を見込んでおります。



研究本館屋上設置太陽光パネル



栽培管理棟屋上設置太陽光パネル

当社は、レスポンスブル・ケア活動の強化として「気候変動の緩和」を企業存続にかかわる重要課題の1つとして選定しており、2021年度までにGHG 排出量を20%削減（2013年度比）することを目標に掲げ、排出削減活動を推進しています。今後も企業として取り組むべき課題に対して目標を着実に達成することにより、社会の持続的発展に貢献してまいります。

（ご参考）

※ 埼玉県地球温暖化対策推進条例

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0502/ontaijourei.html>

以上

本件に関するお問い合わせ先

日産化学株式会社 経営企画部 CSR・広報室
(東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング)

TEL:03-4463-8123

E-mail: csr_pr@nissanchem.co.jp